

「日本一暮らしやすいまち」を実感できますか？

福祉サービス・子育て支援の充実を！



6月議会には「子どもの医療費無料化拡充を求める請願」が提出され、中学3年までの拡充を求める声が届けられました。(共産党のみの賛成で請願は不採択に)

幸山市長は、政令市となり「日本一暮らしやすいまち」を目指すとし、「熊本都市圏の牽引役を果たしていく」と

の答弁をこれまでも繰り返してきました。

しかし、熊本市の子ども医療費の水準は下表のとおり都市圏市町村と比較しても、低い水準にとどまっています。

子育て世代にとって、経済的な負担軽減は切実な願いです、他の市町村の牽引役となれるよう、子ども医療費無料化制度の拡充が求められます。

熊本都市圏市町村の子ども医療費無料化の比較

町村名	対象年齢		所得制限	自己負担の状況など
	入院	通院		
熊本市	小3まで	小3まで	無	医科3歳以上、歯科5歳以上は1医療機関につき1ヶ月500円
玉東町	中学修了	中学修了	無	無
合志市	小学修了	小学修了	無	無
菊陽町	中学修了	中学修了	無	無
大津町	小学修了	小学修了	無	無
西原村	小学修了	小学修了	無	無
益城町	中学修了	中学修了	無	無
宇土市	小3まで	小3まで	無	小学生以上は入院2,000円/月 外来1,000円/月
宇城市	就学前	就学前	無	無
嘉島町	中学修了	中学修了	無	無
御船町	小学修了	小学修了	無	小学生以上は1,000円/月
甲佐町	中学修了	中学修了	無	無
山都町	小学修了	小学修了	無	無

障がい者・児の社会参加への支援、家族の負担軽減のため「タクシー券」と「ガソリン券」の選択制を！

現在、熊本市には、重度の障がいがある方の社会参加を支援することを目的に、タクシー（リフト付きタクシーを含む）の初乗り料金を補助する制度があります。しかし、通院や通園のたびに重い料金負担がかかること、さらには、座位保持椅子が必要でタクシーなどを利用できないこと、待ち時間や社内での時間をうまく過ごせず、さくらカードなどが利用できないことなどを理由に、移動手段が自家用車に限られる方も少なくありません。

市議会には、「タクシー券」と「ガソリン券」の選択制の導入を求める陳情が届けられました。すでに、政令市中7市で実施が始まっています。日本共産党は福祉子ども委員会で実現を求め、担当課からは「障がい者や家族の状況をつかみたい」との回答がありました。



【控え室から】

たたかいはこれから！

なすまどか

26日、消費税増税法案が、衆議院で強行採決され、可決されました。6割近くの国民が消費税増税を望まないなか、民主・自民・公明の3党の合意が整えば、数の力で押し切るといふやり方に怒りがおさまりません。同時に、地域で対話をした様々な方の顔が浮かびました。商店の方は、「消費税が上がっても商品の値段は上げられない。歯を食いしばって頑張っているが、10%になれば店をたたむことになる。増税はやめてほしい」と怒りの声をあげました。年金暮らしのあるお年寄りは「一週間の食費は1000円。切り詰めながら貧しさに耐えているが、ここからも増税ですか？」と嘆きの声をあげていました。いずれも、人生や生活そのものに関わる切実な声です。こうした声を数の力で踏みつけた勢力に、私たちの未来を託すことはできません。

たたかいはこれから。「民自公は国会では多数かもしれませんが、国民のなかでは日に日に孤立を深めている」衆議院可決後の共産党・志位さんの言葉です。

「消費税増税許さない」の声を広げ、国民の世論で増税勢力を包囲し、参議院で廃案に追い込むために力を尽くしたいと思います。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

熊本市中央区手取本町1-1 議会棟 ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

NO. 806

2012年7月1日

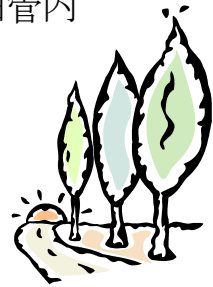
電話 328-2656

FAX 359-5047

龍田「総合」出張所への拡充は、公平なサービス提供に不可欠

区役所から 13.9km、一番遠い龍田が「総合出張所」ではない

「総合出張所」になっていないのはわずか5カ所です。しかも、総合も含め14カ所の出張所の中で区役所から13.9km、一番遠い「龍田」が一般の出張所というのは、どう考えても納得できるものではありません。同じ北区内の総合出張所・清水まで行くのに、乗り換えまでして6.1kmもあります。一般の出張所では2番目に遠い南部出張所の3倍近い距離です。しかも龍田管内5校区のひとつ弓削小学校区には、ゆうゆうバスの路線さえなく、行政の支援は全くありません。



区役所から出張所までの距離

	(出張所名)	(区)	距離 (km)
出張所	龍田	北	13.9
	南部	南	5.3
	大江	中央	2.5
	東部	東	2.1
	秋津	東	1.7
総合出張所	河内	西	11.0
	清水	北	8.7
	幸田	南	8.7
	花園	西	7.9
	天明	南	7.7
	託麻	東	7.0
	飽田	南	6.8
	城南	南	6.2
	北部	北	4.4

北区役所へ、朝一番バスでも帰るのは昼過ぎ、運賃約1200円バスを拡充しても、住民の負担は軽減されていません

区バス・ゆうゆうバスは、4・5月実績だけでも利用は少なく、1便あたり平均2人です。このままでは、ゆうゆうバスは地域の自己責任による「住民バス」になり、民間事業者による区バスは便数や路線の存続すら今から危ぶまれます。

(ルート)	1便あたり乗客数	収支率
植木循環	6人	19.4
北部	2.5人	7.1
楠・武蔵循環	1.5人	5.3
市内平均 (9ルート)	2.1人	7.1

区バスの状況は把握できていないため、「ゆうゆうバス」の利用状況を紹介

一般「出張所」は、総合出張所の「3分の1」の業務しかない

一般の出張所では、総合出張所で取り扱う92業務の約3分の1の35業務しか取り扱わず、右に紹介したような国保や介護・保育所やひまわりカード・ひとり親医療・障害者、ゴミ収集など、住民に身近な暮らし・福祉にかかわる業務が一般出張所では受けられません。

龍田出張所管内の人口は43,138人(今年4月現在)、区内の約3分の1が居住しています。身近な龍田出張所で十分なサービスがないために、多くの人々が、北区の中で公平なサービスの提供から取り残されています。



【「総合出張所」ではできて「出張所」でできないことの事例】

- ・ 国民健康保険の高額療養費・出産や葬祭等一時金の申請
- ・ 後期高齢者医療の届出や療養費等申請
- ・ 介護保険の減免・保険証再交付申請等障害者手帳の交付申請
- ・ 重度心身障害者医療費助成等の申請
- ・ 年金の請求、減免等の申請
- ・ 市営墓園の使用許可申請
- ・ 会葬許可 ・ 罹災証明
- ・ 母子健康手帳交付申請・妊娠届出
- ・ 妊婦健康相談、保育園の入所申請
- ・ ひまわりカード(子ども医療費助成)申請
- ・ ひとり親家庭医療費助成・児童扶養手当申請
- ・ ゴミステーション・資源物の申請
- ・ 老人クラブへの助成 など他にも多数

「龍田」を「総合出張所」に拡充するのに必要な人員は4~5人

地方自治法第10条には、「住民は、属する地方公共団体の役務の提供を等しく受ける権利を有する」と定められています。6月議会最終日、上野議員の質疑に、企画振興局長は「龍田を総合出張所にするのに必要な人員増は4~5人」と答弁しました。

住民への公平なサービスを保障する立場から、龍田出張所には必要な人員を確保し、速やかに総合出張所へと拡充すべきです。

このままでは、政令市は「市民サービスの向上」というメリットに逆行です。